

地水火風 恒牧野一

あの東日本大震災当日、果を発表した。本稿では、最も衝撃を受けたのは、巨大な津波にまわり、いと家や町の映像だつた。東京湾奥の臨海部があんな巨大津波に襲われたら、被害は計り知れない。

「東京湾奥は、日本の太平洋岸では最も津波リスクが少ない地域の一つ。最悪でも湾奥の津波の高さはせいぜい1.5m~2m」というのが以前の常識だった。政府や自治体の各種被害想定でもその程度だったのだが、3・11の際には、東京湾奥にも2mを超える津波が押し寄せ、安心しているわけにはいかなくなつた。こんな危機感を背景に、東京都、神奈川県、千葉県の三都県は、今春、相次いで地震や津波の被害想定の見直し結

る。報告書で共通しているのは、切迫性が懸念されている首都直下型地震では、「津波被害はない」ということである。首都

この元禄関東地震をモ

デルに震源断層面と変位量を想定し、各地の津波の高さや到達時間などを計算する、というのが、今回、各報告書で取られた手法である。

元禄型関東地震を想定せしめ、被災の出る津波は発生間隔が2300年と30mを超えるところもあ

る。東京が津波で大停電に見舞われ復旧が遅れた

場合、東京都の報告では、品川区の一部で津波高さがせいぜい3mまでだ。

この想定で防潮施設が機能しないとする場合で

最大だ。神奈川県の報告では、「東京湾岸でも3m近くで4m、相模湾岸で平均2m程度と予測され

ては特に言及されてい

ない。また、東京都と千葉

のあたりとなつている。

千葉県の報告だから東

京には言及していない

関係では大きなりスクで

はない、と考えられてい

るようだ。

この被災が出るかシミュ

レートしていい。

東日本大震災の経験を踏まえて政府の中央防災が来たら

「東京湾口に10mの津波

がある。今回の報告を見限

り、東京湾奥の大都市部

に3・11の三陸地方のよ

うな巨大津波が押し寄せ

る。東京が津波で大停電

に見舞われ復旧が遅れた

りすれば、経済損失だけ

でも大変なことになる。

「先刻手は打つていて」

「いつ」とならよいのだ

が……。

地下街や地下鉄の入り

口が浸水する可能性を検

討し対策を取つておく

策に結びつけていつも

ことを不可欠だ。同じよ

うなリスクは他にもたく

さんありそうだ。津波浸

水予想エリアに何があ

り、もし浸水したらどう

なるのか、そのため何

をしておかなければなら

ないのか、検討するには

大きなリスクを抱える施設

これから溢流してゼロメ

ートル地帯が冠水する、

などということはあると

考えられている。大都市

の場合、浸水エリアに大

きなリスクを抱える施設

これから

千葉県の報告では元禄型

関東地震についてほぼつ

もある」とされている。

千葉県の報告では元禄型

関東地震についてほぼつ

ある」とされている。

千葉県の報告では元禄型

関東地震についてほぼつ

ある」とされている。